

江戸の名プロデューサー 蔦屋重三郎と浮世絵のキセキ

今年の大河ドラマの主人公でもあり、江戸の浮世絵を語るうえで欠かせない存在となった蔦屋重三郎(1750-1801)。老舗の版元がひしめくなか、蔦屋は新興の版元として出版界に彗星のごとく現れました。斬新な作品を次々に世に出すことで喜多川歌麿を人気絵師として育て上げ、東洲斎写楽を発掘したことはまさに偉業といえるでしょう。

千葉市美術館の開館30周年を記念する本展では、蔦屋の仕事に焦点をあてながら、浮世絵の始祖で房州出身の菱川師宣にはじまり、多色摺の錦絵を創始した鈴木春信、歌麿、写楽が活躍した「浮世絵の黄金期」、葛飾北斎、歌川広重にいたるまでの浮世絵の歴史をたどります。

千葉市美術館の珠玉の浮世絵コレクションを中心に、美人画や役者絵の名品の数々をご堪能ください。

会期 5月30日(金)～7月21日(祝)10:00～18:00(金・土曜日は20:00まで) 月曜日休室(7月21日を除く)

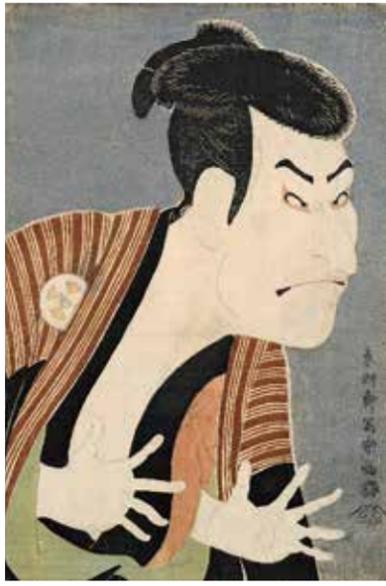
会場 市美術館7・8階企画展示室

料金 一般1,500円、大学生1,000円、高校生以下無料

同時開催 日本美術とあゆむ一若冲、蕭白から新版画まで

市美術館 ☎221-2311 FAX221-2316

第1月曜日(祝・休日の場合は翌日)休館



学芸員が選ぶ

今月の★イッピン★

喜多川歌麿《画本虫撰》 1788年(天明8年)

市美術館蔵

美しく咲き誇る芥子の花の周りに集まっているのは、蜻蛉と蝶です。虫をテーマに、恋心について詠んだ狂歌を2首ずつ載せた狂歌絵本です。

絵師としてまだ知られていなかった喜多川歌麿(生年不詳-1806)が版元蔦屋重三郎のも

とで描いた、狂歌絵本の最初のものとして貴重な作品です。絵本の冒頭には、歌麿の師である鳥山石燕(1712-1788)によって歌麿が幼少の頃虫遊びに夢中であったというエピソードも書かれていますが、歌麿のきめ細かい描写からもそのことが伝わってきます。これが木版



「江戸の名プロデューサー 蔦屋重三郎と浮世絵のキセキ」(左の記事)で展示中です。



染谷学芸員

画であるということに疑うほどに、美しく繊細な彫摺も見事です。花の散っている芥子やつぼみなど、花の状態や向きがそれぞれ異なったリズム感のある構図からも、歌麿の意欲や工夫が感じられます。

市美術館 ☎221-2311 FAX221-2316

千葉の親子三代夏祭り参加者募集

千葉の親子三代夏祭りのイベント参加者・出店者を募集します。一緒に祭りを盛り上げましょう。詳しくは、[千葉市を美しくする会](#)

日時 ①8月16日(出)11:00～20:00

②8月17日(日)13:00～20:00

内容 ①ダンスパフォーマンス
②ステージイベント、出店(飲食・物販など)、パレード、武者行列、千葉おどり(おどり・太鼓)

備考 祭り当日にボランティアとして参加して下さる方も募集しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

申込方法 6月16日(月)必着。ホームページから。応募用紙(ホームページから印刷。市民自治推進課、区役所総務課でも配布)を、郵送、bikai@city.chiba.lg.jp、FAXも可。郵送先=〒260-8722千葉市役所市民自治推進課内千葉市を美しくする会

市を美しくする会(市民自治推進課内) ☎245-5138 FAX245-5155



千葉氏ダンボール甲冑づくり教室

日時・会場 7月25日(金)=みつわ台公民館、28日(月)=轟公民館、30日(水)=幕張公民館
いずれも、14:00～16:30

対象 小学生と保護者

定員 各10組20人(作成した甲冑を着て、8月17日(日)の祭りのパレードに参加可能な方優先)

申込期限 6月20日(金)必着 **申込方法** 【左記】

100円募金にご協力を

募金は、地域の緑化・美化や市民の健康づくりなどに使われます。市民自治推進課または区役所地域づくり支援課で受け付けています。